

令和3年度 学校評価結果公表

原山台幼稚園

1、園の教育目標

〈げんきであかるくのびのびと〉少人数のクラス編成で一人ひとりを大切に。

- * 健康で明るく心身ともにバランスのとれた子。
- * 思いやりのある豊かな心と頑張る強い心を持った子。
- * 自分でよく考え自分で行動できる子ども。



2、本園の重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した、学校評価の具体的な目標や計画

- * 自己点検・自己評価することにより個々の目標保育を振り返り、自園の教育方針を十分に理解した保育を、又、教育目標に基づいた保育がなされているか等を各教師自ら客観的に見直し、自分の長所や課題を理解し、保育者として向上を目指す。
- * 各保育者の自己評価を踏まえて、園設備・環境・教育内容の改善に取り組んでいく。



3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
教育方針・指導計画記録について	例年通り指導計画は園全体で、又、各学年が話し合い、個々の子ども達が楽しめるよう、又、心身の成長に沿ったものに計画されている。またその年の子ども達の反応や発見に応じて、変更できるように配慮している。行事ごとに改めて確認し、どの保育者も指導内容を十分に理解し、園内外問わず第三者にも周知喚起できるようにしておく。
健康について	子ども達が心身ともに、健康で安全な生活を送ると共に、笑顔あふれる園生活が送れるように、各家庭の環境を把握する事で、家庭で基本的な生活習慣を送っていけるようにいろいろな形で発信する。又、必要に応じて家庭との連携をとり見守り援助していく。食育に関しては、園内の畑で野菜や、果物を育て、観察・収穫を行い、給食の食材として、提供されている。
人間関係について	保育者と子ども、そして保護者との信頼関係を築く事に重点を置き、安心した関係の中で園生活が送れるようにする事は、変わりなく今年度も基本としておく。学年に応じた遊びを工夫したりして、子ども達とたくさん関わりを持っている。トラブルが起きた時には、たつぷりと時間を設け、互いの思いに耳を傾けるようにして、相手の気持ちにも気付かせるような言葉掛けをしている。
環境について	園で過ごすことが、子ども達の生活、すなわち環境であることを頭に置き、安心して過ごせる環境を作り、感性を育つように整える。園外の掃除は学期毎なので、月1回や、週1回出来る様、見直したい。
言葉について	毎日の園生活を過ごす事で、話す楽しさを味わえるようにし、子どもの思いを受け止め、一人ひとりが自分の意思表示を出来るような環境作りをしたり、発表する場を設けたりしている。

表 現 に つ い て	作品・リズム・思い等の様々な表現などができる楽しさを味わい、自信につながっていける様に配慮する。又、表現できる場として、日々の園生活、行事を工夫し、子ども達が積極的に参加できるようひとりひとりの思いや意見を取り入れ工夫・配慮してきた。
研 修 に つ い て	例年同様保育終了後や長期休暇を利用して、積極的に研修に参加している。また、園内においても、色々な事例に基づいてシミュレーションを行っている。昨年度は、園外研修で学んだことを園内で伝え合うことが出来ていなかったが、本年度は研修後、職員間で共有が出来たので、今後も、お互い情報交換することで、保育技術の向上に努めていきたい。又、研修に参加することで満足せずに、自分自身の課題を見つけ、教育者としての、意欲や知識の向上を目指す事を、今年も課題としていきたい。
家 庭 と の 連 携 に つ い て	例年と変わらず、保護者の思いに耳を傾け、懇談や送迎の際にその日の子どもの様子を伝えるなどし、より深く信頼関係を築けるようにしている。今後も続けて努力していくと共に、一人ひとりの成長について各家庭と情報を共有・交換・連携していく事を怠らないように心がける。
安 全 ・ 衛 生 管 理 に つ い て	園庭では、各遊具の側で安全面に配慮し、見守るようにしている。また、各学年に応じた遊具で遊ぶようにし、危険のないようにしている。火事・地震・不審者侵入などの訓練を定期的に行っているせいか、非常時には各職員がとるべき状況を確認し把握できるようになった。普段の訓練は行えているが、各行事の時も同じように行えるよう、認識が必要だと思う。例年と同じように、ヒヤリ・ハットの事案を検証し、子どもにとって怪我の対象となるようなものは、出しっ放しにしない・すぐに修理する等を徹底してきたが、まだまだ、不十分であることに気付かされた。園生活の中で、個々の心遣いや配慮・点検が、安全管理に繋がることを意識し日頃から気をつけるようにしてきた。園児が服用する薬や、園置きしている薬品は、間違いの無いように細心の注意をはらうことを怠らずしてきた。
学 級 運 営 に つ い て	園内全域にわたり、子ども達が園生活を過ごす上で、わかりにくかったり、使いにくかったりするところがある。支援が必要な園児には、常に担当の職員がついているわけではない。例年同様変わらず、園児の個人記録はその時々記録すると共に、今後の園生活に的確な引継ぎが出来るよう、職員は心がけておく。



4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

評価結果

自己評価をする度に思うことであるが、自己評価を終えるたびに立ち止まり自分の課題が客観的に見えてくる。自分自身を見直す大切なことであると痛感する。

満身に目標を達せられた事 又、十分に良かった事なども把握できるが、まだまだ、不十分で心残りの面も見えてくる。日々の保育・季節ごとの行事・学期末・学年末をその都度振り返っているが、園としての、個人としての課題が明確に分かる。

保育のあり方や幼児への対応、保護者への支援等、方向性が一致出来るよう日々話し合い進めていくことが大切である。

下記のことは、毎年と同様であるが大切なことであるので、今後も記しておきたい。

- * 保護者や地域との関わりを深める。
- * 支援が必要な園児には関わり方を、保護者と共に専門知識のある関係機関と連携をとる。
- * 子どもの育ちを十分に意識し、その育ちの手助けとなるべく配慮する。
- * 子どもの思いを受け止めると共に、その思いに答えられるようにする。
- * 自然に触れる機会を多く持ち、四季や自然現象を体感出来る機会を持つ。
- * 子どもにとっての、安全かつ安心できる最良の環境を整える。
- * 個々の保育者が研修・専門書などの勉強を怠らず、自己の成長を図る。
- * 職員間同士で、報告・連絡・相談しあい、足並みを揃えた保育を行っていく。
- * 危機管理について職員間で確認しあい、どの様な場においても対処・対応できるようにしておく。
- * 全てにおいて、丁寧な保育・仕事をする。
- * 改定された教育指導要領に基づいた、指導教育を行う。



等を常に意識しながら、保護者対応・学級運営、そして子ども達と実りある充実した園生活を送れるように、又、幼児期の教育を行えるようにする。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
環 境 作 り	園生活が楽しくなるように、怪我などしないよう、園内外の安全、点検・整備を日常的に怠らない。備品など老朽化しているものは新しいものと交換する。園庭の草花などの環境を整え、いつでもきれいな状態であることを維持する。
保育技術の向上	行事ごとの保育の振り返りを怠らず、問題点や反省点が見つかった時など園全体で考え解決できるようにしていく。研修参加やスキルアップの為の自己学習は勿論であるが、自己の感性が豊かになるよう様々な文化や芸術に触れると共に、四季を十分に感じられるような活動を取り入れて“今”しかできない経験の楽しさを共に味わう。支援が必要な子ども、今の子どもの姿と保育者が向き合い、子どもにあった保育を行う。また、子ども主体の保育となるよう、カリキュラムを組む。
小学校との連携	就学前の園児一人ひとりを十分に把握すると共に、課題のある子どもには的確な引継ぎを小学校に行い、保護者の思いも受けとめつつ、就学後も安定した生活が送れるように援助する。コロナ禍で実際に小学校への訪問は出来ないが、別の方法で小学校のことを知らせていきたい。
地域との連携	地域の方々と関わりをもち、日々の保育に繋がるようにしていくことが、園児の安全・安心である園生活を送れ、安定し充実した教育に繋がる事を理解し進めていく。

令和3年度

学校関係者評価 結果公表

幼稚園の教育目標

- *心身共にバランスのとれた子。
- *健康で明るい子、元気な子、思いやりのある子、強い心を持った子。
- *自分でよく考え、自分で行動出来る子。

幼稚園の教育方針

- *健康な体力を養う保育（専任コーチによるスイミング指導と体育指導）
- *子どもの発達段階を考え、頭に詰め込むのではなく豊富な経験を身体全体で受容する保育
- *ひとりひとりを大切に、楽しみ喜び明るさいっぱい愛情ある保育

園の学校評価（自己評価）の内容について・・・

	評価項目	評価	理由
1	保育の姿勢・進め方について	A	コロナ禍のなか対策を徹底し、園行事や日々の保育を適切に進めていた為、子ども達も楽しく充実した園生活を過ごしていたと思う。一人一人に目を配り、個々のペースに合わせている。出来ることが増え1年の成長が感じられたことが、親として嬉しい。各学年、年間計画に基づき指導されていることが分かりやすい、又、専任の指導講師のもとでの指導も子ども達が楽しめるよう遊びを取り入れた形である事で、子ども達も楽しんでいるように思う。今後もそれぞれのペースで指導し、一人ひとりの個性を大切にし、子どもの姿を見守りながら担任が理解し対応してほしい。
2	園児への対応	A	担任だけでなく全ての職員が、全ての園児の顔と名前を把握し対応しているので安心できる。子どもの様子を見ていても毎日楽しそうに帰ってくるので安心できる。子どもの個性や、やる気をひきだす関わりをしてきているので成長を感じることができる。体調の悪い時、けがをした時など連絡をくれるので、園でのことが分かりやすい。
3	幼稚園教諭としての能力・良識・資質	A	経験の豊かな先生が多いので安心できるとともに、適切なアドバイスもしてくれるので信頼できる。親でしか気づかない様な事（食欲や体調の良い悪い）些細なことも気づき連絡をし、子どもの様々な様子を知らせてくれるので、日々の成長(身体だけでなく心も)が分かり安心することが多い。
4	保護者の方への対応	A	お手紙だけでなく、HP、メール等で細かく対応している。些細なことでも「個人懇談」だけでなく話を聞いてくれ、又、急な申し出でも対応してくれる。何かあれば連絡が入り、事実だけでなく経過・対応なども知らせてくれるので安心である。子どもの様子も分かりやすく伝えてくれるので嬉しい。どの職員も気持ちよく対応してくれている。

5	行事のバランスや設定	A C	行事のあり方としては十分だが、10月の行事が多いように感じる。コロナ禍の中、多少行事が縮小されたが、対策をとりながら出来る限りのことはしてもらっている。年間通して、季節の行事・伝統行事など大切に取り組み、その意義についても説明されているので、子ども達の心に残ると思う。その上創意工夫をしていると感じられるので、楽しい物になっていると思う。
6	安全管理の取り組み	A B	災害・交通安全・不審者などを想定した訓練を定期的に取り組んでいる。園内の遊具も利用しやすいよう、整備・点検で来ている。コロナ禍であるので、感染対策（消毒・検温）又、来園保護者の感染対策も十分である。行事の時の「名簿」も親としては面倒であるが、コロナ禍の今、来園者の把握としては大切であると思う。オートロックがきちんと施錠されていないことがあるので、徹底してほしい。 園バスの事件があった時、素早く園のバス対応の在り方を知らせてくれ、とても安心できる内容だった。
7	園に対する保護者の満足度の把握	B C	満足ではあるが、コロナ禍中の行事を「保護者1名」ではなく「保護者2名」にしても良かったのでは。行事縮小はコロナを理由にしている・・・少人数園なので、持って工夫できたのではないかと思う。 園に対する要望も、伝えやすい人間関係が見て取れる、園に対する、多種多様な意見が増えている中、保護者の要望を把握してくれ、充分とは言えないかもしれないが対応できていると思う。 しかし、子どもの相談などは、時間を割き成長の為に話を聞いてくれているので、そういった満足度は大であると思う。 アンケートも行事ごとにこまめにとるなどの措置をしてほしい。

結果の表示方法・・・・・・・・

- A 十分達成されている
- B 達成されている
- C 取り組まれているが、成果が十分でない
- D 取り組みが不十分である

今後の園のあり方について・・・・・・・・

担任以外の職員、バスの添乗員・運転手さんまで 園児一人ひとりの名前を全職員が覚えていたり、アットホームな園だと感じると共に、みなさんが一人ひとり把握してくれていると感じます。現状維持であたたかく優しい雰囲気のあるままにいてほしい。
コロナ禍で行事が制限された一年でも、子どもたちが喜ぶようなステキな事を沢山考えて、楽しめていたと思う。感謝です。

園の問題点について・・・・・・・・その他含む

特に不安も問題もないと思う。
大規模園と違い、温かい雰囲気の園と思う。園の雰囲気や先生の気配りが「元気で優しい子ども」が多いと感じます
コロナが落ち着き、子ども他の「ワクワク・ドキドキ」の体験が何の制約もなく、たくさんできますように…と願っています。